

のぞみ

Hospital public information magazine

美希病院
広報誌「のぞみ」

November 2022
Vol.09

会いたい
話したい人がいる

良き医療と
やすらぎの環境

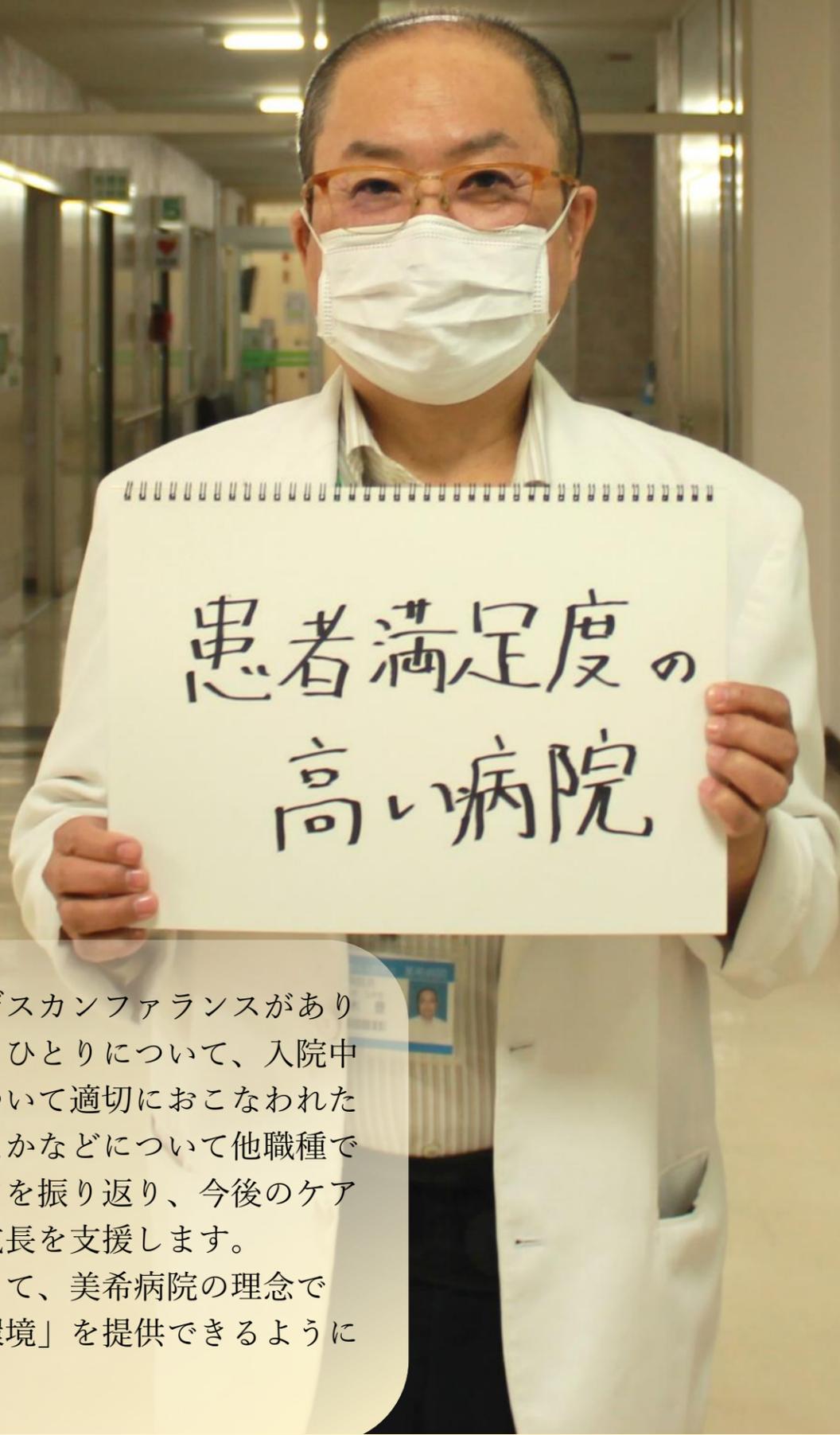
特集 「入院」、そしてわたしが考える理想の美希病院

院長 臼木 豊 「医療人としての自覚と研鑽」

Usuki yutaka

美希病院では令和3年、1年間で入院 841人、退院 846人、そのうち 253人の患者さんが死亡退院されました。

お看取り患者さんのご家族への新しい取り組みとして、パンフレットを作りました。”おわかれが近づいてきたときに”と題したパンフレットには、食欲がなくなる、会話がちぐはぐになる、尿量の減少、呼吸や意識の変化などについて臨終が近づいてくるとおこる体の変化について説明しています。患者さんの実際の死が訪れる前に死を想定することで喪失感を抱き、心理的反応を起こすことを予期的悲嘆と言いますが、パンフレットでの具体的説明で予期的悲嘆を体験することにより、患者さんの死と現実に向き合う時の衝撃や悲嘆を軽くして、悲嘆からの立ち直りをはやくすることへの支援を目的としました。

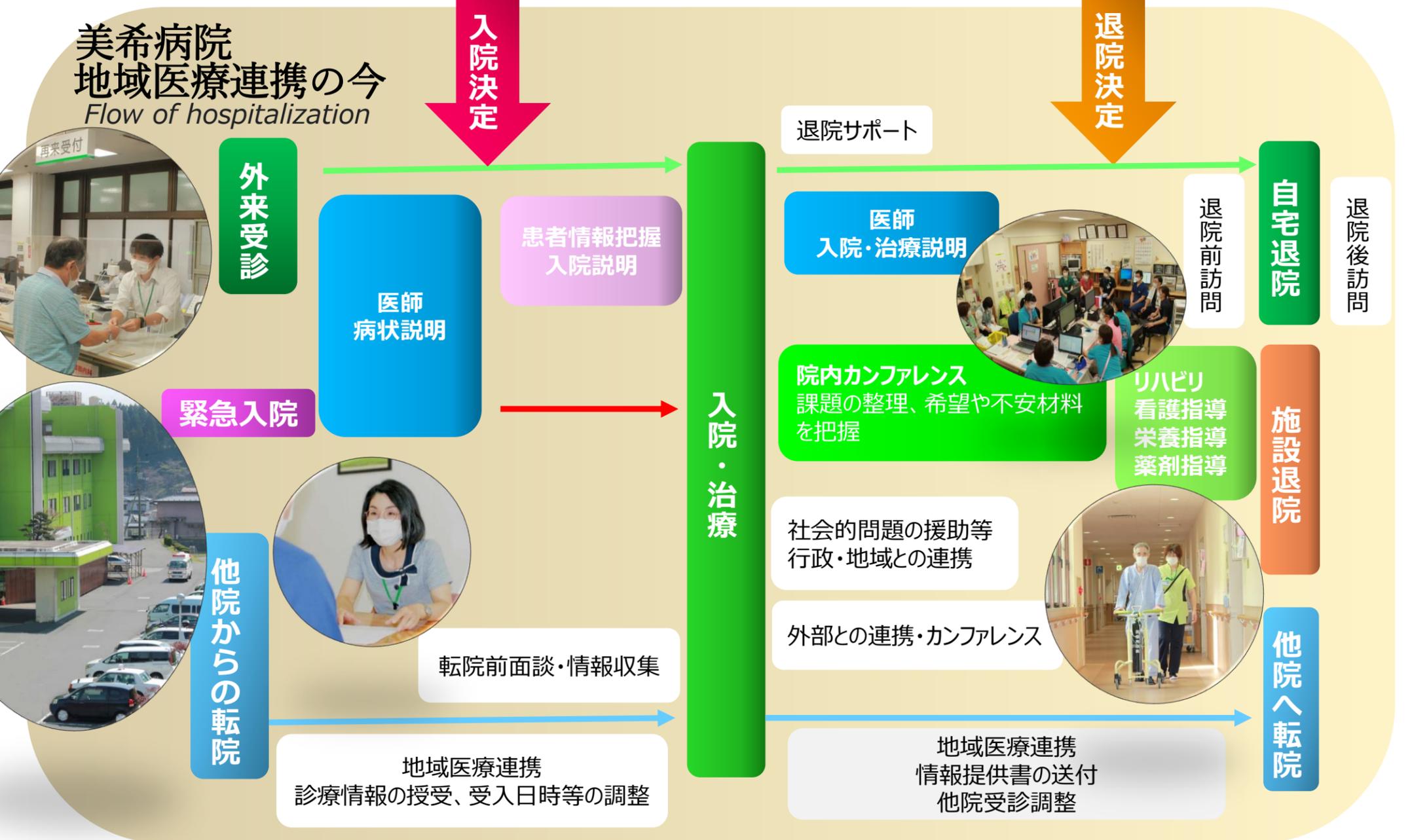


また以前からの取り組みではデスクンファランスがあります。亡くなられた患者ひとりひとりについて、入院中の診療、家族を含めたケアについて適切におこなわれたか、もっとこうすればよかったかなどについて他職種で話し合います。患者さんのケアを振り返り、今後のケアの質を高め、スタッフ個々の成長を支援します。

このような取り組みなどを通して、美希病院の理念である「良き医療とやすらぎの環境」を提供できるように努力してまいります。

美希病院 地域医療連携の今

Flow of hospitalization



地域連携室 及川

「ホスピタリティをもって」 Oikawa

美希病院では、様々な経路から入院されてくる方がおります。ご自宅、他医療機関、救急搬送、老人福祉施設や居住系施設の入所者さんなどです。治療により症状や状態が改善し、他院に向けて準備を行う際に私たち連携室スタッフがお手伝いさせていただいております。その内容は、環境の変化から経済面も含めた包括的な支援になることもあります。

“環境の変化”では、これまで自力で歩行できた方が歩行困難になったり、ご自宅のお風呂に入れなくなったりという場面で、福祉用品やサービスの提供についてお手伝いします。また、経済面を含め行政との橋渡しを行うなど、お気持ちの整理や向き合うことの行っております。私たちは、それぞれの背景に寄り添い、安心して生活していくことが出来るよう、多職種で情報と想いを共有しています。また、ケアマネージャーさんや地域のサービス事業所の皆様と関わり、多方面からご協力をいただけることで、安心・安全な退院支援につなぐことができます。

ご家族や患者さんのお話を伺い、一緒に考え“安心して地域にかえる”ことが出来るようになるためにも、私たちは病院・施設・サービス事業所の皆様と連携を図りながら、これからも地域の中で支援し続ける連携室でありたいと考えております。



医事課 佐藤 「社会的にもいい医療。」 Satou 「広がる連携の輪。院内から地域全体へー」

お看取り患者さんの最後の会計の際に
わたしたちへ深々と頭を下げ、
「お世話になりました。」や
「ありがとうございました」とお声を掛けて
くださるご家族がいらっしゃいます。

その仕草や表情、話かたは様々ですが、
どなたからも等しく「深い感謝」が感じられ、
過去にそのお姿に胸が熱くなったのは一度や二度
ではありません。

ご家族から表された「深い感謝」は決して、
私たち医事課職員のみに向けられたものではなく、
チーム医療を実践する美希病院の全職員に向けら
れたものにほかなりません。

前沢の地域医療の中核を担う当院において
今後これまで以上に取り組むべき課題が
「地域医療 連携」であるのは既知の事実です。
奥州前沢地域全体に当院の理念である
「良き医療とやすらぎの環境」が早期に形成
されるよう、今後もチーム医療の一員として、
また地域医療の担い手として、より一層の使命感
をもって日々の業務に取り組んでまいります。

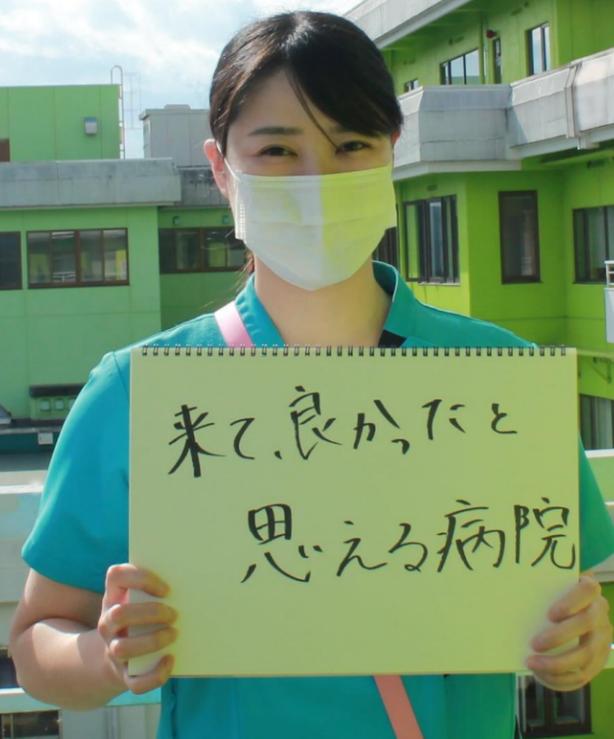


看護科 橋階 「わたし自身が環境の一部」 Hashikai

療養病棟には、一般病棟での治療を終えた後も
医療を必要とする方や、人生の最終段階の医療が
必要な方、日常生活の自立を目指し在宅や施設復帰
を目標にしている患者さんが入院しています。
年間行事は季節感あふれる飾り付けやイベントで
患者さんと一緒に楽しく療養できる環境づくりに
励んでいます。

患者さんと関わる中で、食べる・歩くなどの
出来る事を大切に「頑張ろう」という前向きな
気持ちを持てるよう、温かい声がけを心がけてい
ます。

また、患者さんやご家族とお話をし、不安や心配事
があれば必要な専門職への橋渡しと調整役となる
ことで不安の軽減や解決への手助けをしていきたい
と思っています。
入院している患者さんが少しでも穏やかな気持ち
で過ごせるようスタッフと協力し、
「良き医療とやすらぎの環境」を提供できるよう
取り組んでいきます。

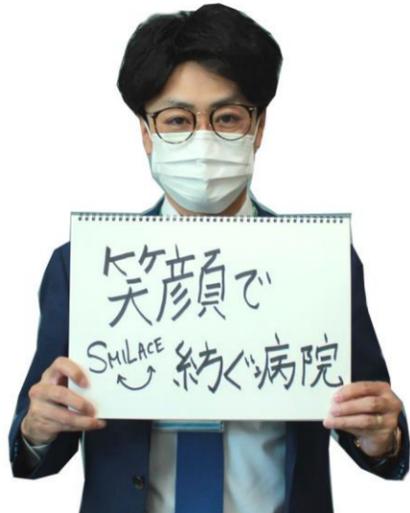


わたしが考える理想の美希病院

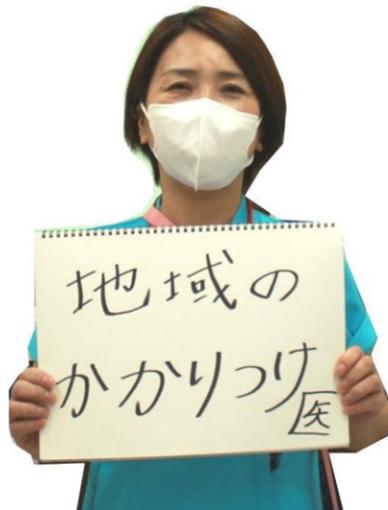
患者さんが美希病院に期待することは何でしょうか？
わたし達は応えたい。利他的でありたい。



盛岡事務所 晝澤



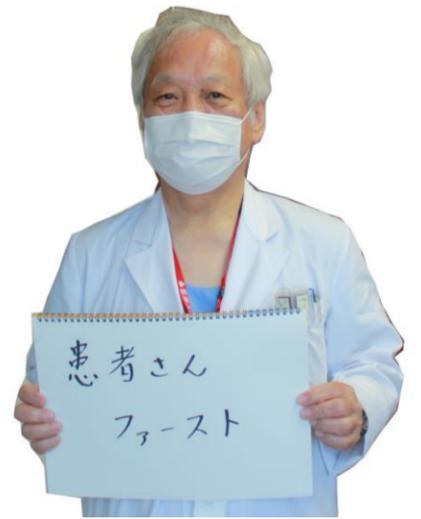
事務長 千葉



総看護師長 鈴木



院長代行 井筒 大人 医師



院長代行 藤井祐三 医師



翻訳事務員 レーホアンコンティエン



障害者病棟 佐々木

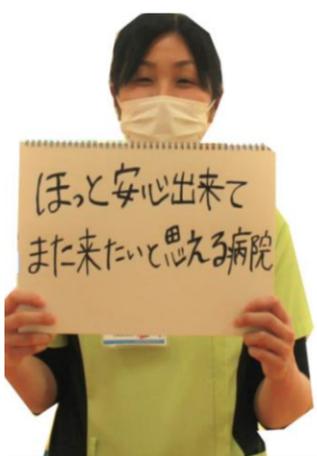


一般病棟 村上



外来 菊池

Team Medical Care



リハビリテーション科 三浦・高橋



放射線科 中村



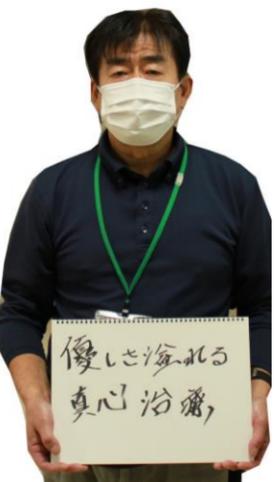
栄養科 畑中



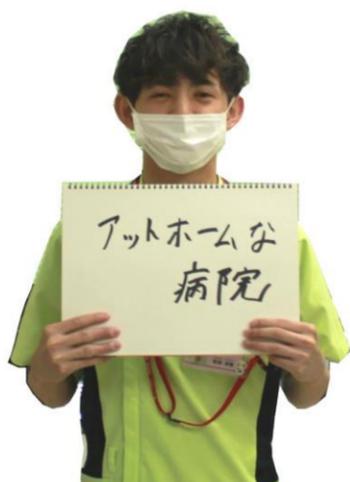
検査科 千田



薬剤科 関



総務課 用務員 志和



アザレア 岩淵



ケアセンター 菊池



デイケアセンター 梅田



ヒトタ食品 菊池



人工透析室 菊池

QUALITY OF LIFE

美希病院には「良き医療とやすらぎの環境」という理念があります。

「良き医療」というのは患者さんにとってだけではなく、社会的にもいい医療であり、そして自身の利益のみを追求するのではなく、利他的であることと、考えてください。

「やすらぎの環境」というのは美しい建物や庭という意味だけではなく、私たち自身がホスピタリティの精神を持ち、患者さんや入所者様へやすらぎの環境を与えることと、わたしたちは考えています。わたしたち自身が環境の一部なのです。

社団医療法人 啓愛会 理事長 井筒 岳



外来診療予定カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
11	6	7	8	9	10	11
	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25
November	27	28	29	30		
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
12	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
December	25	26	27	28	29	30
	31					
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
1	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
January	29	30	31	26	27	28

外来担当医表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
内科	午前	休 診 日	井筒(大)	小泉/森谷	小栗	白木	垣見	垣見/小栗
	午後		駒井	駒井	駒井/小泉	小栗	垣見/小栗	第1・3週 垣見/応援医師
循環器内科	午前		井筒(大)	井筒(大)			井筒(大)	井筒(大)
	午後		井筒(大)	井筒(大)			井筒(大)	
外科	午前		森谷	森谷	森谷	森谷	藤井	井筒(岳)
	午後		森谷	森谷	手術予定	森谷/藤井	藤井/井筒(岳)	
整形外科	午前		山本	山本	山本		第1・3・5週 東北大学病院医師	第1・3週 那須 第2週 応援医師
	午後				井筒(岳)	山本	第2週 応援医師	第4週 山本 第4・5週 東北大学病院医師
泌尿器科	午前		井筒(俊利)	井筒(俊利)	井筒(俊利)			
皮膚科	午前							仲田
	午後							
小児科	午前	五味	半井	五味	半井	半井	半井	
	午後		半井	半井				
リハビリテーション科	午後		半田			半田		
呼吸外来	午前					海老名		
糖尿外来	午前			第1・3週 佐藤				
脳神経外科	午前					朝日		
漢方外来	午後			奈良				
予約外来					井筒(午後)		井筒(午前)	

※都合により診療科及び担当医師、診療時間を変更する場合がございます。予めお電話にてご確認くださいませようお願致します。

社団医療法人 啓愛会 美希病院
午後休診 休診



〒029-4201
岩手県奥州市前沢古城丑沢上野100
TEL 0197-56-6111

直通FAX 0197-56-6125
火曜日～土曜日 8:30～17:00
日曜日 8:30～12:30